

支台築造早分かり フローチャート

直接法

間接法



- p2
- ◎ メタルフリーコアのメリットについて
 - ◎ レジンで支台築造を行う際のポイント

p3

◎ 直接法レジンコア

おすすめ

p4 直接法レジンコア ①



p5 直接法レジンコア ②



p6 直接法レジンコア

ファイバーポストをレジンセメントで固定する場合 ①



p7 直接法レジンコア

ファイバーポストをレジンセメントで固定する場合 ②



p8

◎ 間接法レジンコア

p9 間接法レジンコアの作成方法



高接着

p10 間接法レジンコアの接着 ①



簡単

p11 間接法レジンコアの接着 ②



p12 参考：根管象牙質への
歯面処理について

④



⑤



p13

◎ 関連製品

◆ 本資料に登場する製品について



クリアフィル®
ユニバーサルボンド Quick



クリアフィル®
ADファイバーポスト



クリアフィル®
DCコア オートミックス® ONE



クリアフィル®
DCアクティベーター



クリアフィル® メガボンド® 2



クリアフィル® メガボンド® 2
プライマー



クリアフィル® メガボンド® 2
ボンド



パナビア® V5
ペースト



パナビア® V5
トゥースプライマー



SA ルーティング® プラス



SAセメント プラス
オートミックス®



クリアフィル®
セラミックプライマー プラス



クリアフィル®
ポーセレンボンド
アクティベーター



K エッチャント GEL



K エッチャント シリンジ



ADゲル

◎ メタルフリーコアのメリットについて

1) 審美性

金属ポストを使用しないので、組み合わせる補綴物の透明性を十分に活かすことができ、審美的な治療に適しています。

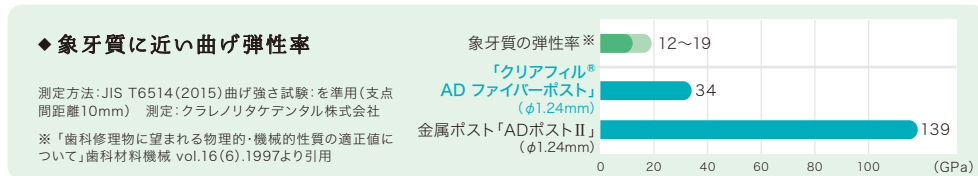
◆ クラウン外観への影響 (3種の支台歯による比較)



- クラウン
ノリタケカタナ® シルコニア (UTML)
- ファイバーポスト
クリアフィル® AD ファイバーポスト
- レジンコア
クリアフィル® DCコア
オートミックス® ONE (ホワイト)
- 鑄造金属コア
ノリタケ P-60
- 金属ポスト
ADポストII

2) 曲げ弾性率

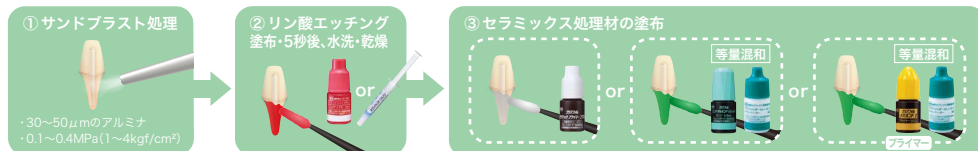
「クリアフィル® AD ファイバーポスト」は金属ポストよりも象牙質に近似した曲げ弾性率を示しており、応力集中が起こりにくく、歯根の破折などを起こしにくいと考えられます。



◎ レジンで支台築造を行う際のポイント

A) 1. コアの前処理について

レジンで作製したコアは前処理が必要です。



2. 「クリアフィル® AD ファイバーポスト」の表面処理について

「クリアフィル® AD ファイバーポスト」は表面処理が必要です。



B) 組み合わせるボンディング材について

コア用レジンと併せて使用するボンディング材はデュアルキュア性能があるもの、もしくは右図の組み合わせをおすすめします。



C) 根管象牙質への歯面処理について

根管象牙質は歯冠部象牙質に比べ脆弱で、接着が困難な部位とされていますが、「パナビア® V5」や「SA ルーティング® プラス」を使用する場合は、他の製品を組み合わせることで接着力を高めることができます。

● 詳しくはP.12をご参照ください



直接法レジンコア

おすすめ

p4

直接法レジンコア①



p5

直接法レジンコア②



p6

直接法レジンコア

ファイバーポストをレジンセメントで固定する場合①



p7

直接法レジンコア

ファイバーポストをレジンセメントで固定する場合②



おすすめ

直接法レジンコア ①

直接法レジンコアは接着が重要です。象牙質に対して高い接着力をもつ「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick」との組み合わせが最適です



● 通法にしたがい、根管形成・根管充填を行った後、築造窩洞の形成、歯科用ポストの試適等を行ってください。

1 歯科用ポストの表面処理

「クリアフィル® AD ファイバーポスト」の表面処理については、2ページをご参照ください。

※ 使用する表面処理材については、添付文書をご確認ください。

2 ボンディング処理

窩洞へ「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick」塗布



3 乾燥

バキュームで吸引しながら液面が動かなくなるまでマイルドなエアブローでしっかりと乾燥



4 余剰ボンディング材の除去

ペーパーポイント等で根管内の余剰ボンドの除去後・エアブローで乾燥



5 光照射

光照射



◎ ボンドへの照射時間の関係

分類	光量	照射時間
高出力LED照射器	1500mW/cm ² 以上	5秒
LED照射器	800~1400mW/cm ²	10秒
ハロゲン照射器	400mW/cm ² 以上	10秒

「ベンキュアー 2000」の高出力モードの場合は3秒、標準モードは10秒

(製造販売元：株式会社 モリタ製作所)

光量については各照射器の添付文書をご確認ください。

6 ペーストの填入

「クリアフィル® DCコア オートミックス ONE」ペーストを填入、1分以内に「クリアフィル® AD ファイバーポスト」を植立してください



7 ポストの固定

「クリアフィル® AD ファイバーポスト」を植立し、光照射して固定



◎ ペーストへの照射時間と硬化深度の関係 (歯科重合用光照射器)

照射器	光量	照射時間	硬化深度
ハロゲン照射器	300mW/cm ² 以上	10秒	1.5mm
		20秒	2.0mm
LED照射器	300mW/cm ² 以上	10秒	1.5mm
		20秒	2.0mm

光量については各照射器の添付文書をご確認ください。

8 ペーストの築盛

「クリアフィル® DCコア オートミックス ONE」の築盛



9 支台歯形成

舌側と唇(頬)側の2方向より光照射、支台歯形成※

※ 光硬化深度以上に築盛する場合は、6分以上静置してから形成する。



◎ ペーストへの照射時間と硬化深度の関係 (歯科重合用光照射器)

照射器	光量	照射時間	硬化深度
ハロゲン照射器	300mW/cm ² 以上	10秒	1.5mm
		20秒	2.0mm
LED照射器	300mW/cm ² 以上	10秒	1.5mm
		20秒	2.0mm

光量については各照射器の添付文書をご確認ください。

「クリアフィル® DCコア オートミックス ONE」添付文書 使用用途 1) 直接法による支台築造

ご使用の前には、必ず本品及び関連材料の添付文書をお読みください。

直接法レジンコア ②

「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」以外の支台築造用レジンを使用する場合は、ボンディングにデュアルキュア性能があるものが必要です。以下の組み合わせをおすすめします。



クリアフィル®
ユニバーサルボンド Quick クリアフィル® メガボンド® 2

+



クリアフィル®
DCアクティベーター

+



クリアフィル® AD ファイバーボンド

+

デュアルキュア型・
セルフキュア型
支台築造用レジン

● 通法にしたがい根管形成、根管充填、窩洞形成、歯科用ポストの試適等を行ってください。

1 歯科用ポストの表面処理

「クリアフィル® AD ファイバーボンド」の表面処理については、2ページをご参照ください。

※ 使用する表面処理材については、添付文書をご確認ください。

2 ボンディング処理

2-A 2-B どちらかの方法で
ボンディング処理

2-A 「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick」の場合

① ボンドとDCアクティベーターの混和液塗布

「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick」と「クリアフィル® DCアクティベーター」を1滴ずつ等量混和したものを塗布 待ち時間なしで3へ



2-B 「クリアフィル® メガボンド® 2」の場合

① プライマー塗布、乾燥

「クリアフィル® メガボンド® 2」プライマー塗布。20秒処理後バキュームで吸引しながらマイルドなエアブローで乾燥 20秒処理後 → 5秒以上乾燥



② ボンドとDCアクティベーターの混和液塗布

「クリアフィル® メガボンド® 2」ボンドと「クリアフィル® DCアクティベーター」を1滴ずつ等量混和したものを塗布



3 乾燥(弱～中圧)

マイルドなエアブローで5秒以上乾燥。バキュームで吸引しながら液面が動かなくなるまで乾燥 5秒以上乾燥

4 余剰ボンド除去

ペーパーポイント等で余剰のボンド除去、エアブローで乾燥



5 光照射

光照射



◎ ボンドへの照射時間の関係

分類	光量	照射時間
高出力LED照射器	1500mW/cm²以上	5秒
LED照射器	800~1400mW/cm²	10秒
ハロゲン照射器	400mW/cm²以上	

光量については各照射器の添付文書をご確認ください。

「ベンキュアー 2000」の高出力モードの場合は3秒、標準モードは10秒
(製造販売元: 株式会社 モリタ製作所)

6 ポスト植立・支台築造・光照射

使用する材料の添付文書を参照の上、ポスト植立・支台築造を行ってください。



「クリアフィル® ユニバーサルボンド QUICK」添付文書 使用用途 6) デュアルキュア型又はセルフキュア型の歯科用支台築造材料によるポストの植立及び/又は支台築造
「クリアフィル® メガボンド® 2」添付文書 使用用途 8) デュアルキュア型又はセルフキュア型の支台築造材料によるポスト植立及び/又は支台築造

ご使用前には、必ず本品及び関連材料の添付文書をお読みください。

高接着

直接法レジンコア

ファイバーポストをレジンセメントで固定する場合①



クリアフィル® AD ファイバー・ポスト



クリアフィル®
DCコア オートミックス® ONE

● 通法にしたがい、根管形成・根管充填を行った後、築造窩洞の形成、歯科用ポストの試適等を行ってください。

1 歯科用ポストの表面処理

「クリアフィル® AD ファイバーポスト」の表面処理については、2ページをご参照ください。

※ 使用する表面処理材については、添付文書をご確認ください。

2 築造窩洞の前処理

「パナビア® V5 トゥース プライマー」の塗布・20秒処理



20秒間処理

3 プライマーの乾燥

余剰プライマーの除去・エアープロー・バキュームで吸引しながら乾燥



4 ペーストの塗布

「パナビア® V5」ペーストを押し出し、ポスト、もしくは築造窩洞内に塗布

◎ 操作時間

操作時間 (23℃)	2分
ペーストを窩洞内に塗布した場合の操作時間 (37℃)	60秒



5 ポストの挿入

気泡が入らないように、「クリアフィル® AD ファイバーポスト」を挿入



6 光照射

余剰ペーストを残存歯冠やポストのヘッド部に薄く広げ、光照射。オペックの場合は3分間保持



◎ 照射器と照射時間の関係

分類	光源	光量	照射時間
高出力LED照射器	青色LED	1500mW/cm²以上	(3秒または5秒) × 2回
LED照射器		800~1400mW/cm²	10秒
ハロゲン照射器	ハロゲンランプ	400mW/cm²以上	10秒

光量については各照射器の添付文書をご確認ください。

7 ペースト築盛

「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」ペーストの築盛



8 支台歯形成

舌側と唇(頬)側の2方向より光照射※支台歯形成

※ 光硬化深度以上に築盛する場合は、6分以上経過してから形成する。



◎ ペーストへの照射時間と硬化深度の関係 (歯科重合用光照射器)

照射器	光量	照射時間	硬化深度
ハロゲン照射器	300mW/cm³以上	10秒	1.5mm
		20秒	2.0mm
		10秒	1.5mm
LED照射器	300mW/cm³以上	10秒	1.5mm
		20秒	2.0mm

光量については各照射器の添付文書をご確認ください。

「パナビア® V5」添付文書 使用用途 5) コア・ポストの接着

ご使用の前には、必ず本品及び関連材料の添付文書をお読みください。

直接法レジンコア

ファイバーポストをレジンセメントで固定する場合②



SA ルーティング® プラス

or



SA セメントプラスオートミックス®



クリアフィル® AD ファイバーポスト



クリアフィル®
DCコア オートミックス ONE

● 通法にしたがい根管形成、根管充填、窩洞形成、歯科用ポストの試適等を行ってください。

1 ペーストの準備～ペーストの注入

1-A 「SA セメント プラス オートミックス®」の場合

① ガイドチップの装着

ミキシングチップ(エンド用)に、ガイドチップ(エンド用極細)を装着します。

② ペースト填入

気泡の混入に注意しながらペーストを填入。

◎ 操作時間

操作時間(23℃)	1分
ペーストを窩洞内に塗布した場合の操作時間(37℃)	40秒



1-B 「SA ルーティング® プラス」の場合

① ペーストの採取

「SA ルーティング® プラス」AペーストとBペーストの等量採取



水分混入をさけるため練和紙、練和棒は冷蔵保管しない

② 練和

10秒練和



③ ペースト填入

CRシリリング等を用いて根管内に「SA ルーティング® プラス」ペーストを填入

◎ 操作時間

操作時間(23℃)	2分
ペーストを窩洞内に塗布した場合の操作時間(37℃)	40秒



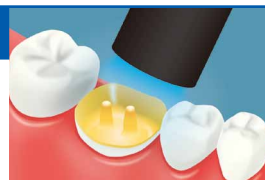
2 ポストの挿入

「クリアフィル® AD ファイバーポスト」を気泡が入らないよう注意しながら挿入後、余剰ペーストを残存歯冠やポストのヘッド部に薄く広げる



3 光照射

残存歯冠やポストのヘッド部に対して、各面につき光照射



◎ 最終硬化時の光照射時間

分類	光源	光量	照射時間
高出力LED照射器	青色LED	1500mW/cm²以上	(3秒または5秒) × 2回
LED照射器		800~1400mW/cm²	10秒
ハロゲン照射器	ハロゲンランプ	400mW/cm²以上	

光量については各照射器の添付文書をご確認ください。

4 ペースト築盛

「クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE」の築盛



5 支台歯形成

舌側と唇(頬)側の2方向より光照射、支台歯形成※

※ 支台歯形成は植立から10分以上経過した後に行うこと。



◎ ペーストへの照射時間と硬化深度の関係 (歯科重合用光照射器)

照射器	光量	照射時間	硬化深度
ハロゲン照射器	300mW/cm³ 以上	10秒	1.5mm
		20秒	2.0mm
LED照射器	300mW/cm³ 以上	10秒	1.5mm
		20秒	2.0mm

光量については各照射器の添付文書をご確認ください。

「SA ルーティング® プラス」添付文書 使用用途 4) 金属コア、レジンコア、金属ポスト、グラスファイバーポストの接着

ご使用前には、必ず本品及び関連材料の添付文書をお読みください。

間接法レジンコア

p9 間接法レジンコアの作成方法



高接着

p10 間接法レジンコアの接着 ①



簡単

p11 間接法レジンコアの接着 ②



p12 参考：根管象牙質への
歯面処理について

①



②



間接法レジンコアの作成方法



**クリアフィル®
DCコア オートミックス ONE**



クリアフィル® AD ファイバーポスト

● 通法にしたがい、根管形成・根管充填を行った後、築造窩洞の形成、印象採得等を行ってください。

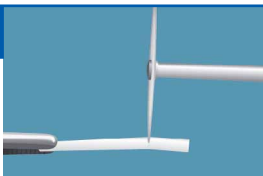
1 模型製作

窩洞内にアンダーカットがある場合は、ワックス等であらかじめブロックアウトします。



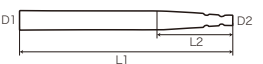
2 歯科用ポストの準備

適切な太さの「クリアフィル® AD ファイバーポスト」を選択し、試適。切断し、アルコールワッテ等で清掃。



◎「クリアフィル® AD ファイバーポスト」のサイズ表

品名	L1	L2	D1(φ)	D2(φ)
No.3	18	5	1.04	0.6
No.4	18	5	1.24	0.6
No.5	18	5	1.44	0.7
No.6	18	6	1.64	0.8



3 歯科用ポストの表面処理

「クリアフィル® AD ファイバーポスト」の表面処理については、2ページをご参照ください。

※ 使用する表面処理材については、添付文書をご確認ください。

4 模型分離材の塗布

模型に分離材を塗布します。



5 ペーストの填入

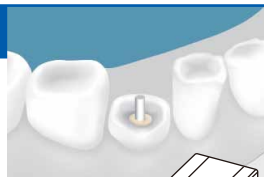
「クリアフィル® DCコア オートミックス ONE」を模型根管内に填入。

操作可能時間：ミキシングチップを通して練和開始後3分



6 歯科用ポストの植立

「クリアフィル® AD ファイバーポスト」の植立後、光照射して固定します。



◎ ペーストへの照射時間と硬化深度の関係 (歯科技工用重合装置)

照射器	照射器	硬化深度
アルファライト II ¹⁾	120秒	3.0mm
アルファライト II N ¹⁾		
アルファライト III N ¹⁾	180秒	5.0mm

1) 製造販売元：株式会社モリタ 東京製作所

◎ ペーストへの照射時間と硬化深度の関係 (歯科重合用光照射器)

照射器	光量	照射時間	硬化深度
ハロゲン照射器	300mW/cm ² 以上	10秒	1.5mm
		20秒	2.0mm
LED照射器		10秒	1.5mm
		20秒	2.0mm

光量については各照射器の添付文書をご確認ください。



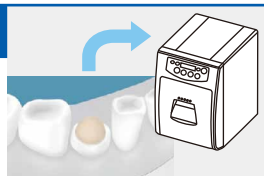
7 支台築盛

「クリアフィル® AD ファイバーポスト」周辺に「クリアフィル® DCコア オートミックス ONE」を築盛します。



8 最終光照射

最終光照射^{※1}を行います。所定の光硬化深度以上の築盛量になる場合は照射後室温(23℃)において10分以上静置します。



※1 ステップ6の表参照。

9 支台歯形成

硬化後、模型から取り外し支台歯形成します。



「クリアフィル® DCコア オートミックス ONE」添付文書 使用用途 2) 間接法による支台築造

ご使用の前には、必ず本品及び関連材料の添付文書をお読みください。

間接法レジンコアの接着 ①

レジンコアを「パナビア® V5」で接着する場合



パナビア® V5

● 通法にしたい、根管形成・根管充填を行った後、築造窩洞の形成、レジンコアの試適等を行ってください。

1 補綴物の前処理

レジンコアの前処理については、2ページをご参照ください。
※ 使用する表面処理材については、添付文書をご確認ください。

2 歯質の前処理

「パナビア® V5 トゥース プライマー」を20秒処理、余剰プライマーを拭き取ったあと、エアープローで乾燥



20秒処理

3 ペースト填入

「パナビア® V5」エンド用チップを使用して根管内に直接填入する※1

◎ 操作時間

操作時間 (23℃)	2分
ペーストを窩洞内に塗布した場合の操作時間 (37℃)	60秒



5 光照射

マージン部に光照射※



◎ 最終硬化時の光照射時間

分類	光源	光量	照射時間
高出力LED照射器	青色LED	1500mW/cm ² 以上	(3秒または5秒) × 2回
LED照射器		800~1400mW/cm ²	10秒
ハロゲン照射器	ハロゲンランプ	400mW/cm ² 以上	

光量については各照射器の添付文書をご確認ください。

6 支台歯形成

6分間保持し、形成



※ 1回の照射で全ての範囲が入らない場合は、光照射を繰り返してください。
ただし「パナビア® V5」のオペークは植立から3分保持。

4 コアの装着 余剰セメントの除去

4-A 4-B どちらかの方法で除去

4-A 光照射で半硬化させる除去法

（「パナビア® V5」のオペークには、この方法は使用できません。）

① 余剰セメント1ヶ所につき3~5秒光照射※



3~5秒

4-B 小筆による除去法

① 余剰セメントを小筆等で除去



「パナビア® V5」添付文書 使用用途 5) コア・ポストの接着

ご使用前には、必ず本品及び関連材料の添付文書をお読みください。

間接法レジンコアの接着 ②

レジンコアを「SA ルーティング® プラス」または「SA セメント プラス オートミックス®」で接着する場合



SA ルーティング® プラス

or



SA セメント プラス オートミックス®

● 通法にしたがい、根管形成・根管充填を行った後、築造窩洞の形成、レジンコアの試適等を行ってください。

1 補綴物の前処理

レジンコアの前処理については、2ページをご参照ください。
※ 使用する表面処理材については、添付文書もご確認ください。

2 ペーストの準備～コアの装着

2-A 「SA セメント プラス オートミックス®」の場合

① ガイドチップの装着

ミキシングチップ(エンド用)に、ガイドチップ(エンド用極細)を装着します。

② ペースト填入、コアの装着

気泡の混入に注意しながらペーストを填入。気泡の混入に注意しながらコアを装着

◎ 操作時間

操作時間(23℃)	1分
ペーストを窩洞内に塗布した場合の操作時間(37℃)	40秒



2-B 「SA ルーティング® プラス」の場合

① ペーストの採取

「SA ルーティング® プラス」
AペーストとBペーストの等量採取



② 練和

10秒練和

水分混入をさけるため練和紙、練和棒は冷蔵保管しない



③ ペースト填入、コアの装着

CRシリリング等を用いて根管内に「SA ルーティング® プラス」ペーストを填入、その後気泡の混入に注意しながらコアを装着

◎ 操作時間

操作時間(23℃)	2分
ペーストを窩洞内に塗布した場合の操作時間(37℃)	40秒



3 余剰セメントの除去

3-A 3-B どちらかの方法で除去

3-A 光照射による方法

余剰セメント1ヶ所につき2～5秒光照射。半硬化した余剰セメントを探针等で除去



3-B 化学硬化による除去法

装着後、2～4分保持。半硬化した余剰セメントを探针等で除去



4 光照射

マージン部に光照射※



◎ 最終硬化時の光照射時間

分類	光源	光量	照射時間
高出力LED照射器	青色LED	1500mW/cm²以上	(3秒または5秒) × 2回
LED照射器		800～1400mW/cm²	10秒
ハロゲン照射器	ハロゲンランプ	400mW/cm²以上	

光量については各照射器の添付文書をご確認ください。

5 支台歯形成

10分間保持し、形成



※ 1回の照射で全ての範囲が入らない場合は、光照射を繰り返してください。

「SA セメント プラス オートミックス®」添付文書 使用用途 4) 金属コア、レジンコア、金属ポスト、グラスファイバーポストの接着
「SA ルーティング® プラス」添付文書 使用用途 4) 金属コア、レジンコア、金属ポスト、グラスファイバーポストの接着

ご使用の前には、必ず本品及び関連材料の添付文書をお読みください。

参考：より象牙質への接着を高めたい場合の歯面処理について

根管象牙質は歯冠部象牙質に比べ脆弱で、接着が困難な部位と言われています。「SA ルーティング® プラス」「SA セメント プラス オートミックス®」や「パナピア® V5」は以下の組み合わせで使用すると象牙質への接着力を高めることができます。



◎注意

この組み合わせで使用した場合、
余剰セメントの光照射時間が
短くなるのでご注意ください。

1 ボンド塗布

窩洞に「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick」塗布



2 乾燥

マイルドなエアブローで5秒以上乾燥

※ バキュームで吸引しながら液面が動かなくなるまで乾燥してください。



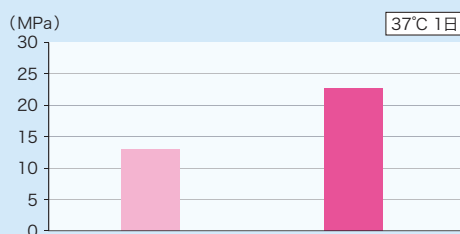
3 ペースト填入

CRシリンジ等で築造窩洞内に「SA ルーティング® プラス」ペースト、または「SA セメント プラス オートミックス®」ペースト填入。

※ 気泡の混入にご注意ください。



人歯象牙質へのせん断接着強さ



SA ルーティング® プラス SA ルーティング® プラス +
クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick

測定条件：人歯#1000研磨面、被着面積3mmφ、
クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick 3秒処理
マージン部へベンキュア2000で2方向から各10秒光照射
37°C水中に1日浸漬後(37°C1日)、測定

測定装置：オートグラフ AG-100kN (島津製作所)
クロスヘッドスピード：1mm/min

クラレノリタケデンタル(株)測定：条件により数値は異なります。



この組み合わせは、コ
アやポストの接着など
象牙質に高い接着力
を求める場合にのみ使
用します。

1 エッチング処理

「K エッチャント GEL」を塗布し、
10秒～30秒間処理後、水洗・
乾燥します。



2 「ADゲル」塗布

60秒間処理

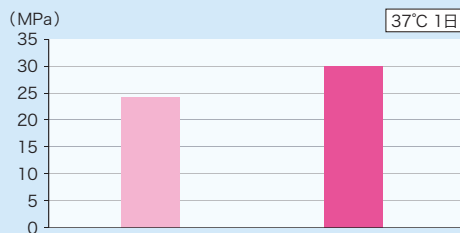


3 水洗・乾燥・ 「パナピア® V5」填入

※ 水洗・乾燥時は飛散を防止するため、
バキュームを併用。



人歯象牙質へのせん断接着強さ



通常術式 ADゲルを使用した場合

測定条件：人歯#1000研磨面、被着面積3mmφ、パナピア® V5使用
マージン部へベンキュア2000で2方向から各10秒光照射
37°C水中に1日浸漬後(37°C1日)、測定

測定装置：オートグラフ AG-100kN (島津製作所)
クロスヘッドスピード：1mm/min

クラレノリタケデンタル(株)測定：条件により数値は異なります。

関連製品

管理医療機器 歯科用支台築造材料

クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE

医療機器認証番号:223ABBZX00086000

デンチン/ホワイト



管理医療機器 歯科用支台築造材料キット

クリアフィル® DCコア オートミックス® ONE ボンドキット

医療機器認証番号:228ABBZX00107000

デンチン/ホワイト



管理医療機器 歯科用象牙質接着材

クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick

医療機器認証番号:228ABBZX00065000

単品



管理医療機器 歯科根管用ポスト成形品

クリアフィル® AD ファイバーポスト

医療機器認証番号:228ABBZX00058000

単品



管理医療機器 歯科用セメントキット

パナビア® V5

医療機器認証番号:226ABBZX00106000

スターターキット (ユニバーサル)



管理医療機器 歯科接着用レジセメント

SA ルーティング® プラス

医療機器認証番号:226ABBZX00011000

ユニバーサル バリューキット



管理医療機器 歯科接着用レジセメント

SA セメント プラス オートミックス®

医療機器認証番号:225ABBZX00142000

単品



管理医療機器 歯科用象牙質接着材

クリアフィル® メガボンド® 2

医療機器認証番号:227ABBZX00114000

キット



管理医療機器 歯科用象牙質接着材

クリアフィル® DCアクティベーター

医療機器認証番号:228ABBZX00066000

単品



管理医療機器 歯科用象牙質接着材

(歯科セラミックス用接着材料) (歯科金属用接着材料) (歯科用知覚過敏抑制材料)

クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick DCアクティベーター キット

医療機器認証番号:228ABBZX00106000

キット



管理医療機器 歯科用象牙質接着材

(歯科セラミックス用接着材料) (歯科金属用接着材料) (歯科用知覚過敏抑制材料)

クリアフィル® メガボンド® 2 DCアクティベーター キット

医療機器認証番号:228ABBZX00102000

キット



管理医療機器 歯科セラミックス用接着材料 (歯科金属用接着材料)

クリアフィル® セラミックプライマー プラス

医療機器認証番号:226ABBZX00105000

単品



管理医療機器 歯科セラミックス用接着材料

(歯科金属用接着材料) (歯科用象牙質接着材) (歯面処理材)

クリアフィル® ポーセレンボンド アクティベーター

医療機器承認番号:16300BZZ00085000

単品



管理医療機器 歯科用エッチング材

K エッチャント シリンジ

医療機器認証番号:226ABBZX00089000

単品



管理医療機器 歯科用エッチング材

K エッチャント GEL

医療機器認証番号:16100BZZ01130000

単品



高度管理医療機器 医薬品含有歯面処理材

ADゲル

医療機器承認番号:20500BZZ01050000

単品



●ご使用に際しましては、製品の添付文書を必ずお読みください。●仕様及び外観は、製品改良のため予告なく変更することがありますので予めご了承ください。



製品・各種技術
に関する
お問い合わせ

》クラレノリタケデンタル インフォメーションダイヤル

 **0120-330-922** 月曜～金曜 10:00～17:00 www.kuraraynoritake.jp

製造販売元

クラレノリタケデンタル株式会社
〒959-2653 新潟県胎内市倉敷町2-28

連絡先

クラレノリタケデンタル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3(大手センタービル)
フリーダイヤル:0120-330-922

販売元

株式会社モリタ

〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18
〒110-8513 東京都台東区上野2-11-15
お客様相談センター:0800-222-8020
<http://www.dental-plaza.com>

TEL.(06)6380-2525
TEL.(03)3834-6161